

2026 年 7 月 31 日 全 2 頁

中国：政治の季節と景気テコ入れ策の示唆

政治局会議開催。綱紀粛正強化による経済活動の一部委縮懸念

調査本部 主席研究員 齋藤 尚登

[要約]

- 2026 年 7 月 30 日の中国共産党中央政治局会議は、第 20 期中央委員会第 5 回全体会議（5 中全会）を 10 月に開催することを決定した。「全面的で厳正な党内統治」に関する重大問題がテーマだ。今後「政治の季節」が本格的に到来し、体制の引き締めが強化される可能性が高い。経済活動が一部委縮するリスクに注意が必要である。
- 中央政治局会議は 2026 年下半期の経済運営方針を決定したが、内容は総花的かつ抽象的な記述が多い。5 年にわたる不動産不況に関連した政策については、「不動産市場を安定させる」、喫緊の課題である「内巻」（破滅的な価格競争）については、「総合的に内巻式競争を是正する」とあるのみだ。こうした中で、「实际的で有効な刺激策をタイムリーに検討し実行する」という部分は、必要に応じて追加的な景気テコ入れ策が発動されることを示唆している可能性があり、注目される。

「政治の季節」が本格的に到来。体制の引き締め強化へ

2026 年 7 月 30 日の中国共産党中央政治局会議は、第 20 期中央委員会第 5 回全体会議（5 中全会）を 10 月に開催することを決定した。中央委員会は基本的に年 1 回開催される党の重要会議であり、5 中全会では、「全面的で厳正な党内統治」に関する重大問題がテーマになることが発表された。2027 年秋（通常は 10 月か 11 月）には、5 年に 1 度の最重要会議である党大会が開催され、直後の第 21 期中央委員会第 1 回全体会議では、5 年間の新指導体制（人事）が発表される予定だ。今後「政治の季節」が本格的に到来し、体制の引き締めが強化される可能性が高い。

綱紀粛正の強化は、経済活動の一部を委縮させるが、習近平政権下では行き過ぎた付度が行われ、その影響が広がる傾向が強まっている。例えば、2025 年 5 月 2 日に党中央・国務院が発表した「党・政府機関節約奨励・浪費反対条例」では、公務における接待について、高級料理やたばこ、酒類を提供・享受してはならないなどとした。こうした中で、顧客から 1 杯の麺料理を御馳走になった公務員が処罰された話が報道されるなどした。2025 年 6 月～9 月にかけては、高級品や贅沢品に対する需要減少にとどまらず、接待自粛の動きが外食需要にも波及したのである。今後もこうしたリスクの顕在化に留意する必要があるだろう。

2026 年下半年期の景気テコ入れ策を示唆する可能性

中央政治局会議は 2026 年下半年期の経済運営方針を決定したが、内容は総花的かつ抽象的な記述が多い。例えば、5 年にわたる不動産不況に関連した政策については、「不動産市場を安定させる」、喫緊の課題である「内巻」（破滅的な価格競争）については、「総合的に内巻式競争を是正する」とあるのみだ。

財政・金融政策は、2025 年からの「さらに強化した積極的な財政政策」と「適度に緩和的な金融政策」の継続が確認された。こうした中で、「实际的で有効な刺激策をタイムリーに検討し実行する」という部分は、必要に応じて追加的な景気テコ入れ策が発動されることを示唆している可能性があり、注目される。

中国国家統計局によると、2026 年 4 月～6 月の実質 GDP 成長率は前年同期比 4.3%にとどまり、このまま減速が続くと政府目標である前年比 4.5%～同 5.0%の下限の達成すら危うくなる。このため、大和総研ではさらなる金融緩和や財政出動が発動される可能性があるとみている。具体的には、預金準備率の引き下げや地方政府特別債券の増発などにより、地方政府の投資余力を高める政策が有効だと考えている¹。

¹ 詳しくは「[中国経済見通し：成長率目標に早くも黄信号 2026 年 07 月 28 日](#) | 大和総研 | 齋藤 尚登」を参照。